

## < 競技の条件 >

1. ゴルフ規則  
日本ゴルフ協会（JGA）ゴルフ規則及び本大会ローカルルールを適用する
2. 使用球  
競技者の使用球は R&A 発行の公認球リストに記載されているものでなければならない。この条件の違反の罰は、競技失格
3. ホールとホールの間での練習禁止  
競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならない。これに違反して練習ストロークした場合、競技者は次のホールで 2 打罰を受ける。ただし、ラウンドの最終ホールでのときは、そのホールで罰を受ける。（練習グリーンでのパッティング練習を除く）
4. プレーの一時中止と再開
  - ① プレーの一時中止（落雷などの危険を伴わない気象状況）については、規則 6-8 b, c, d に従って処置すること。
  - ② 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが一時中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間に行ったときには、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレー途中であった時は、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 3-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。（規則 6-8 b 注）
  - ③ プレーの一時中止と再開の合図について  
中止・再開の合図はゴルフ場によって異なるので、険悪な状況になった場合は、委員会・ゴルフ場からの案内に注意すること。
5. 険悪な気象条件のため競技が中止になった場合  
競技中止の時点で 9 ホールを消化していれば競技成立、消化していなければ不成立とする。なお、9 ホールでの競技成立の場合は、最少スコアチームを上位とする。タイスコアが発生した場合は、18 番からのカウントバックにより上位を決定する。
6. タイスコアの場合  
チームのスコアがタイとなった場合、マッチングスコアカード方式により上位を決定する。ただし、関西決勝大会および日本一決定戦は、優勝チーム決定時のみ競技委員長の指定するホールでプレーオフ（サドンデス方式）によってチャンピオンを決定する（3 チーム以上でのプレーオフの場合、2 位以下の順位は、脱落順にかかわらずマッ

チングスコアカード方式とする)。

※指定時間内に指定ホールのティインググラウンドに来ない場合は、プレーオフの資格を失う。

#### 7. チーム内の1人が棄権した場合

プレーの途中でチームを構成する1人が不慮の事故や病気等によって棄権した場合、9ホールを消化していれば残りの1人のスコアを採用することで正式記録とする。9ホールを消化していない場合、そのチームのスコアは参考記録となる(1人でマーカーとしてプレー続行しても構わない)。ただし、プレー途中での棄権のみが適用となり、やむを得ない場合をのぞき、スタート時点で1人でスタートすることはできない(1人でプレーイングマーカーとしてプレーすることは可能)。

#### 8. チームの1人が競技失格の違反をした場合

チームのどちらかが、競技失格の罰を受けた場合には、そのチームは競技失格となる(規則31-7)。

#### 9. 競技終了時点と裁定

本大会は、成績発表がなされた時点で終了となり、その後の変更はしない。

ルール処置・その他疑問がある場合は、アテスト終了までに申告すること。

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、委員会の裁定は最終である。

#### <競技方法>

- 2人1組のチーム戦とし、18ホールズフォアボールストロークプレーによって行う。
- それぞれが各自の球をプレーし、2人のうちどちらか少ない方のスコアをそのホールのスコアとする  
(パートナーの1人が1ホールのプレーを終えなくても罰はない)。チームのスコアが確定した時点で、パートナーのボールは必ずピックアップしてもよい。
- ティーショットはスタートホールにおいてはドロー表の順番とする。次のホール以降はチームスコアの良いチームがオナー権を持ち、チーム内であれば、任意の打順でプレーすることができる。ただし、2打目以降は原則とし遠球先打でプレーをする。遠球先打の例外として、グリーン上においては戦略上、必ずしも遠いボールからパッティングしなくてもよい(例:カップに近いパーパットと遠いバーディパットが残った状況で、パーパットを先に決めてから、バーディパットを打ってもかまわない)。
- プレーヤーは同じチーム内のパートナーおよびキャディからアドバイスを受けることができる。なお、他のチームのプレーヤーにアドバイスを与えたり、あるいはアドバイス

を求めた場合には、規則8によりそのホールに2打の罰を付加する。

- 故意に違う方向に打つなど、故意にパートナーの援助をするプレーをした場合はそのホールに2打の罰を付加する（フェアプレーの精神）。
- 処置について疑問のある場合や、1ホールのプレー中に競技者が自分の権利やとるべき処置について自信がない場合、その競技者は罰なしに第2の球をプレーして、そのホールを終えることができる。行動を起こす前に、競技者は（イ）規則3-3を援用すること（ロ）規則上許されればどちらの球をカウントしたいかの2点をマーカーに前もって知らせなければならない。どちらの球のスコアも同じであった場合も含め、競技者はスコアカードを提出する前にその事実を報告しなければならない。競技者がそれをしなかった場合、競技失格となる。

※第2の球の処置をした場合は2つのスコアを記入し、スコアカード提出時に競技委員長の裁定をあおぐこと。

- マーカーとはあくまでも委員会がスコアを記録するために指名した人のことで、規則を判断・裁定する権限はありません。キャディも同様です。最終判断はあくまでも個人ということになり、処置が間違っていた場合には個人のペナルティとなるので、注意すること。

#### ＜大会ローカルルール＞

1. アウト・オブ・バウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭又は、白線をもってその限界を標示する。
3. ウォーターハザードは大会ローカルルールで指定する場合を除き、黄杭又は黄線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭又は赤線をもってその境界を標示する。
4. 排水溝は動かさない障害物とする。
5. 人工の表面をもつ道路に接した排水溝は、その道路とみなす。
6. 電磁誘導カート用の2本のコンクリート軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。球がこのカート道路の上にある場合、競技者は規則24-2b(i)を適用しなければならない。このローカルルールの違反の罰は、2打。
7. 使用禁止の表示のある予備グリーン（カラーを含む）はプレー禁止の修理地（スルー・ザ・グリーン）とし、その上に球があつたりスタンスがかかる場合、競技者は規則25-1b(i)を適用しなければならない。このローカルルールの違反の罰は、2打。
8. 樹木保護のための巻き網は樹木の一部とみなすが、球がその巻き網に挟まって止まった場合は、罰なしにその直下の地点から1クラブレンジス以内で、且つホールに近づくかいない個所に球をドロップすることができる。取り出した球は、拭くことができる。このローカルルールの違反の罰は、2打。
9. グリーン上に球がある時はパター以外のクラブの使用を禁ずる。但しパターが破損し使用不可能な時はその限りではない。

- 1 0. スルー・ザ・グリーン（砂地の場所を除く）のどこでも、自己の球がその勢いで自ら地面に作った穴（ピッチマーク）にくいこんでいるときは、その球は罰なしに拾いあげて、ホールに近づかず、しかも球の止まっていた地点にできるだけ近い個所にドロップすることができる。取り出した球は、拭くことができる。
- 1 1. スルー・ザ・グリーンにおいて、新しい張り芝の継ぎ目（目地）に球があるか、それに触れている場合、または意図するスイングの区域の妨げになる場合は、規則 25-1 b による救済を受けることができる。張り芝の区域内のすべての継ぎ目は同じ継ぎ目とみなす。
- 1 2. 固定スプリンクラーヘッドはすべて動かさない障害物であり、これらのものによる障害からの救済は規則 24-2 によりうけることができる。その他にも球がグリーンから外れてはいるがハザード内でないところにある場合で、そのような障害物（スプリンクラーヘッド）がグリーン上にある時、またはグリーンから 2 クラブレンジス、球からも 2 クラブレンジスの範囲内にあり、しかも球とホールを結ぶプレーの線上に介在している時は競技者は次のような救済を受けることができる。
  - a) ホールに近づかずに、
  - b) そのような障害を避けられる、
  - c) ハザード内でもグリーンでもない場所で、球のあった箇所に最も近い所にドロップしなければならない。拾い上げた球は拭くことができる。このローカルルールの違反の罰は、2 打。
- 1 3. コールオン方式。パー 3 のホールに限り、プレーのペースを全体的にスピードアップするため、先行組のプレーヤーは、自分の組の誰もまだパットを始めていない段階で後続組のプレーヤー全員がティーインググラウンドまで来ている場合、グリーン上にある球の位置をマークして総て拾い上げ、後続組のプレーヤー全員がティーショットを済ませるまでプレーを控え、後続の組にティーインググラウンドからプレーさせることができる。先行組からプレーすることを求められ、後続組がそれに応じたときは、その段階で後続組の各プレーヤーは、自分の球が他のプレーヤーのプレーを妨げたり援助することになりそうだと思うときは何時でもその球を拾い上げて良い、との許可を先行組に与えたものとみなす。

#### <注意事項>

- ゴルフ場ごとに競技の条件やローカルルールに追加・変更がある場合は、当日クラブハウス内の大会公式掲示板に掲示して告示するので、各自スタート前に必ず確認しなければならない(規則 6-1)。
- やむをえずスタート時刻に遅れそうなときは、各々のスタート時間の 1 時間前までに必ず、事務局携帯電話、またはゴルフ場まで連絡を入れること。  
正規のスタート時間から 5 分の遅れについては、スタートホールのチームスコアに 2 罰

打でスタートすることができるが、それ以上遅れた場合には、規則6-3aにより、競技失格となる。

- 本大会は大会指定ティマークを使用する（1・10番のみ大会特別ティマークを併用）。
- 特設ティ等は、ローカルルールで指定された場合を除き、使用しないものとする。
- チームを構成した1人が当日欠席する場合、その残された1人はドロウの同伴競技者としてマーカースをつとめるケースがある（その残された1人はマーカースを兼ねた参考記録の選手として出場できる）。また、マーカースをつとめるプレーヤーが不在の場合、ゴルフ場または委員会からマーカースが出る。
- ドロウは諸般の事情により当日変更もありうる。なお、ペアリング（ドロウ）は事務局が決定する。
- プレー中はマナーを遵守するとともに、スロープレーは厳禁とする。前組との間隔を1ホール以上空けることのないよう注意すること。
- OBまたはロストボールの可能性のある場合には、必ず暫定球の処置を行うこと。
- ギャラリー（応援者）はコース内に立ち入ることができない。
- エントリーフィ入金後はいかなる理由でも返金できない。既に申込みの会場が締切り後の場合は、会場変更はできない。
- 最終的な参加会場等の決定は事務局の判断となる。
- 決勝大会において、予選通過者が出場を辞退した場合、およびエントリー締切りまでにエントリーされなかった場合、出場を辞退したものと見なし、次チームから順次繰上げとする。
- 主催者の責に帰すべき事由によるもの以外に、大会中に発生した傷害・事故等については一切責任を負わない。
- 本競技の品位を損なう行為があった場合は、プレー中であっても即刻、競技への参加を取り消すこともある。
- 申込者の個人情報が出場大会に関する案内・連絡に利用する他、イベント・出版物・販売物等の資料送付に利用することがあるので、希望しない場合は大会事務局まで連絡をすること。
- 申込者の個人情報は株式会社SENCEが責任管理し、業務委託先以外の第三者に開示・提供することはない(法令などにより開示を求められた場合は除く)。

#### <その他>

- 最終結果は競技終了後、大会掲示板とHALYRUIDホームページにて発表する。
- 予選通過枠については各会場にて発表する。
- 変更・追加が出た場合は、大会公式掲示板に告示する。